

史跡加曾利貝塚の整備計画について

1 全体スケジュール

【『史跡加曾利貝塚保存活用計画書』77頁参照】

- ・今後、既存施設の活用を前提とした短期的整備と、新博物館の整備を前提とした中長期的整備に区分して史跡整備を進めていく。
- ・短期的整備について、平成29年度は現博物館の活用を前提とした史跡整備基本計画を策定する。平成30年度以降、基本設計・実施設計を経て、平成32年度の整備完了を目指す。
- ・中長期的整備は、新博物館の位置・規模や交通アクセスの整備、集客事業の展開まで含めて一体的に検討する必要があるため、平成29年度はランドデザインを策定する。

2 グランドデザインの策定

(1) 目的

史跡加曾利貝塚保存活用計画書に示した中長期的な整備の方針に基づき、市民をはじめ幅広く意見を聞きながら、目指すべき将来像とそれを具現化するための具体的な方策をランドデザインとして取りまとめる。

史跡および特別緑地保全地区の一体的な活用を検討することはもちろん、周辺の地域の住民や商店等との連携を含めた「まちづくり」の視点を踏まえて検討をおこなう。

(2) 対象地域

史跡および周辺区域約56ha
(左図点線枠内)

(3) 検討内容

① 現況把握

- ・現地調査による現況の把握
- ・アンケート調査、ワークショップ、ヒアリングなどによる市民からの意見収集

② 課題の整理

- ・周辺の土地利用状況
- ・交通アクセス
- ・自然環境と景観の保全
- ・市民から収集した意見

③ グランドデザインに関わる検討及び方針決定

- ・基本方針の検討と設定
- ・将来的な土地利用の方向性の検討と方針設定
- ・新たな博物館の設置場所・規模・運営体制の検討と方針設定
- ・新たな博物館を前提とした史跡の中長期的な整備の方向性の検討と方針決定
- ・特別緑地保全地区の活用の方向性の検討と方針設定
- ・交通アクセスの検討と方針設定
- ・市民から収集した意見のランドデザインへの反映の検討



④グランドデザインの策定および集客方策の提案

- ・目指すべき将来像の提示と具現化するための具体的な方策の検討
- ・実現に向けた事業計画・スケジュールの検討
- ・集客のためのソフト事業等の事例調査及び提案
- ・提案ソフト事業のターゲット、時期、期間の想定と概算費用の算出

⑤グランドデザインのイメージ図の作成

- ・平面図やパース図によりイメージを表現する。

(4) 実施方法 業務委託（プロポーザル）により実施する。

【スケジュール案】平成 29 年 3 月	仕様検討・プロポーザル準備
4 月～	募集・業者選定
5 月～	契約・着手
9 月	中間報告
平成 30 年 3 月	グランドデザイン策定

3 短期的な史跡整備基本計画の策定 【『史跡加曾利貝塚保存活用計画書』73・74 頁参照】

(1) 目的

史跡加曾利貝塚保存活用計画書に示したゾーニングおよび短期的な整備の方針に基づき、現博物館の活用を前提とした短期的な史跡整備の基本計画を策定する。グランドデザインを策定するとしても必ず中長期的に活用していく部分に限定して整備する。

計画期間は概ね 5 年程度とする。

(2) 対象地域

史跡指定範囲 151, 104. 34 m²

(3) 検討内容

①現況把握

②短期的な整備内容の検討と方針の設定

- ・博物館の移転により根本的に見直す必要があるものはグランドデザインで検討する。
- ・野外観覧施設 3 施設はまず、グランドデザインで今後のあり方を検討する。

③整備対象とするエリア・施設・設備の抽出

【想定している内容】 体験学習エリアの整備（現博物館周辺）
復元集落エリアの整備
便益施設（休憩施設・トイレ等）の整備
管理用道路の整備
園路・サイン、修景・植栽の一部先行整備

④各種基本計画の検討と設定

⑤基本計画図面の作成

⑥工程及び年次計画の立案

⑦概算事業費の算出

⑧事業化に向けた課題の整理

(4) 実施方法 業務委託（プロポーザル）により実施する。

【スケジュール案】平成 29 年 3 月	仕様検討・プロポーザル準備
4 月～	募集・業者選定
5 月～	契約・着手
9 月	中間報告
平成 30 年 3 月	基本計画策定